

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	718 都市公園安全・安心対策総合緊急支援事業	会計	01	一般会計
		款	08	土木費
		項	04	都市計画費
基本 施策	28 緑化を進め、公園や緑地を整備する	目	05	公園費
		細目	640	都市公園安全・安心対策総合緊急支援事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	都市公園安全・安心対策総合緊急支援事業
担当部課	コード	190700	担当者	43 - 2315
	名称	産業建設部 都市計画課	氏名	松尾 卓哉
			連絡先	(内線) 263

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	都市公園の公園施設	※対象件数
成果(どうする)	都市公園における防災対策、バリアフリー対策、公園施設の安全性向上に係る安全安心対策のための施設整備を行うことにより、利用者の安全安心を図る。	
根拠法令・要綱等	都市公園法	
開始年度	平成 22 年度	関連事業
終了年度	平成 25 年度	
H22 事業 内容	岩倉峡公園の遊具改築工事8基及び上野運動公園の遊具改築工事3基の実施。	
社会情勢 の変化等	公園施設の事後的な管理から予防的な管理への転換を行い公園施設の長寿命化を図ると共に、バリアフリー対策や公園施設の安全安心対策のための施設整備が望まれている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	都市公園11箇所
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	168,218 千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
			目標	実績		
			実績	目標		
			目標	実績		
			実績	目標		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
	事業進捗率	全体事業費に対する実施事業費の比率にすることにより、事業の進捗状況が把握できる。	%	目標 0	実績 25	60	75
				目標 0	実績 45		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金		77,278	30,700	30,900
	県支出金		37,300	15,000	15,000
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	2,078	800	800
事業投入人件費(B)		人	0 1.0 人	7,200 1.0 人	7,200 1.0 人
フルコスト(A)+(B)		0	84,478	37,900	38,100

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○	市が管理する都市公園の長寿命化を図るため長寿命化計画を策定し、この計画に基づきバリアフリー対策や公園施設の安全性向上のための施設整備を行うことが必要。
国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○	
受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	○
	遊具の改築費用は多額の費用を必要とすることから、補助事業期間中に大幅な施設の改築工事を実施する必要がある。	
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	○
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	有
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	繰越明許費
効果性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	【状況】 計画のとおり進んでいる
昨年度の取組状況	【詳細】

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	清水 仁敏
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 公園施設の事後的な管理から予防的な管理への転換を行い公園施設の長寿命化を図ると共に、バリアフリー対策や公園施設の安全性向上に係る安全・安心対策のための施設整備を行う必要がある。
現時点における課題、その他	使用を中止している遊具や危険度判定が低下している遊具がある。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	改築時期までは日常点検を行い、遊具の状況を適時判断し、使用する必要がある。